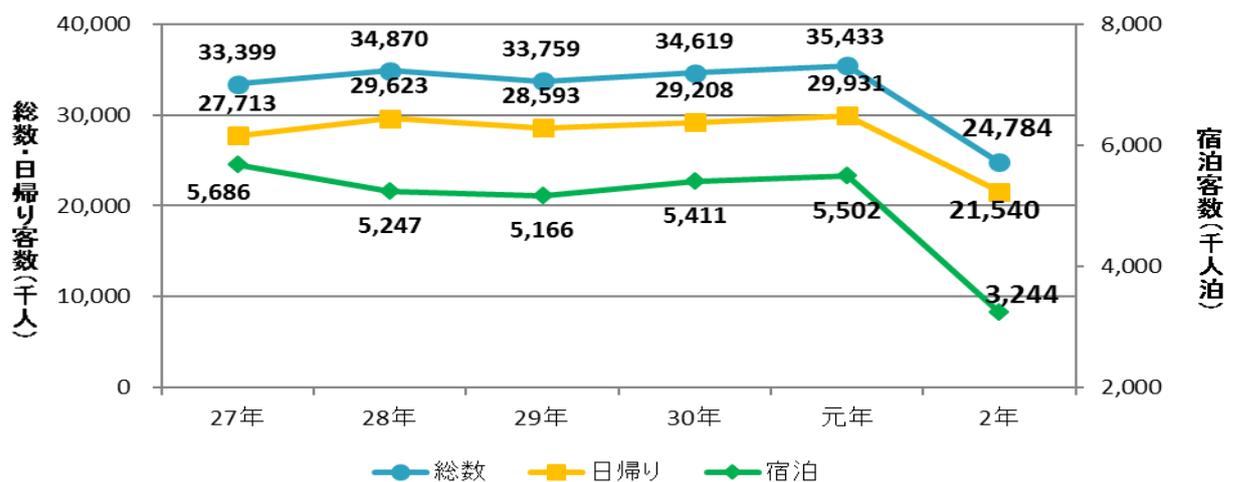


| | | |
|--------------|-----------------------|-----------------------|
| 令和3年 8月 3日提供 | | |
| 資料提供 | | |
| 担当課 | 観光振興課 (動態調査全般について) | 観光交流課 (外国人観光客について) |
| 担当者 | 杉本・竹本 | 海出・山田 |
| 電話 | 073-441-2777 | 073-441-2788 |



令和2年和歌山県観光客動態調査(確定値)

- 令和2年観光客動態調査では、観光入込客総数・日帰り客数・宿泊客数とも前年より大幅に減少した。そのうち、宿泊客数は昭和37年以降、総数は平成元年以降最低を記録した。(昭和34年調査開始)
- 4月から5月にかけて、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う全国的な緊急事態宣言が発令されたことから、観光関連施設の臨時休業をはじめ、都道府県間の往来自粛、各地でのイベントの中止、さらには一斉休校に伴う夏休み期間の短縮等により、日帰り・宿泊客数ともに大幅に減少した。
- 7月以降、県の「わかやまりフレッシュプラン」や国の「GoToトラベル」事業、市町村独自の支援策等の実施により、観光客数は一時的に回復傾向になった。特に、9月からは、県内をはじめ近隣府県からの教育旅行の拡大などにより、宿泊客数は前年比微減にまで回復した。しかし、11月下旬以降の新型コロナウイルス感染症の再拡大や、「GoToトラベル」事業の全国一斉停止などにより、年末は日帰り・宿泊客数ともに再び減少幅が拡大した。
- 外国人宿泊客数は、前年比91%減と、「ビジットジャパンキャンペーン」がスタートした平成15年以降、過去最低となった。



(単位：千人)

| | 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 対元年増減 | 対元年比 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|-------|
| 宿泊 | 5,686 | 5,247 | 5,166 | 5,411 | 5,502 | 3,244 | -2,258 | 59.0% |
| 日帰り | 27,713 | 29,623 | 28,593 | 29,208 | 29,931 | 21,540 | -8,391 | 72.0% |
| 総数 | 33,399 | 34,870 | 33,759 | 34,619 | 35,433 | 24,784 | -10,649 | 69.9% |

外国人宿泊客数について

令和2年の外国人宿泊客数は、県全体で前年度比91%減の45,005人泊となり、「ビジットジャパンキャンペーン」がスタートした平成15年以降で最低となった。

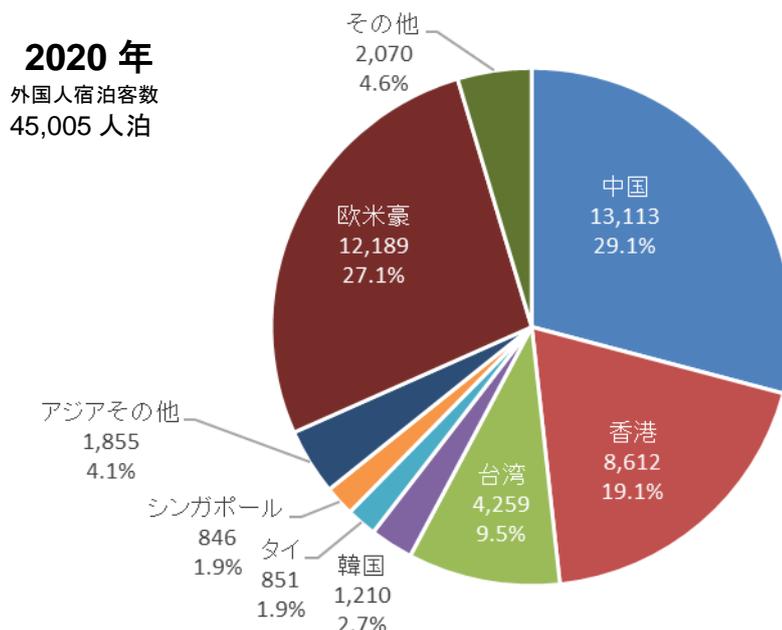
●主なポイント

令和元年に過去最高を記録した外国人宿泊客については、令和2年1月期こそ対前年同期比23.1%増と順調な伸びを示したものの、2月期以降は、新型コロナウイルス感染症の水際対策が強化されたことにより、通年では前年比大幅減となった。

○県内外国人宿泊数の推移 単位：人泊



○県内外国人宿泊客数のシェア(国・地域別) 単位：人泊



令和3年度の取組について

「蘇りの地、わかやま」キャンペーン

新型コロナウイルス感染拡大による影響からの回復を着実なものとするため、情報発信や県内周遊施策など、昨年度から展開している本県の豊かな自然で大いにリフレッシュしてもらう「蘇りの地、わかやま」キャンペーンを継続する。



水の国、わかやま。

「水」を切り口に、県内の絶景や温泉、良質な水から作られる食や清らかな水と一体となって遊ぶアクティビティ体験などを紹介するPR番組や、ネイチャーフォトグラファーの内山りゆう氏とタイアップしたPR動画の制作などにより、和歌山の水にまつわる観光資源の魅力を発信し、誘客を促進する。また、パンフレットや特設WEBサイトのリニューアルをはじめ、公式Facebookなどを活用し情報発信を行う。さらに、水の絶景を巡る周遊看板の整備により、周遊を促進する。



サイクリング王国わかやま

県内約800kmにわたるサイクリングロードと海・山・川の絶景や温泉、食などを組み合わせた旅の楽しみ方を県観光情報誌「紀州浪漫」や公式 Facebook 等により情報発信を行う。

また、サイクリストに優しい宿やサイクルステーションなど受入体制の整備を促進する。さらに、「WAKAYAMA800 モバイルスタンプラリー」に、今年6月に NCR(ナショナルサイクルルート)^{※1} の指定を受けた太平洋岸自転車道^{※2} に含まれるコースを追加。さらに、上級サイクリスト向けには、より競技性のある「RIDE ON WAKAYAMA ポイントランキング」を開始するなど、周遊を促進する。



※1 NCR 指定：自転車で観光地をめぐる「サイクルツーリズム」の促進を目的に、日本を代表し、世界に誇りうるサイクリングロードとして、走行環境など一定の基準を満たすルートを国が指定。

※2 太平洋岸自転車道：千葉県銚子市から神奈川県、静岡県、愛知県、三重県、和歌山県の各太平洋岸を走り、和歌山市に至る延長 1,400km の自転車道。

わかやま歴史物語

県内の豊富な歴史や文化遺産と食、体験などを組み合わせた旅の楽しみ方を「100の旅モデル」として纏めたPR冊子や専用WEBサイトをメインツールとし、引き続き各種メディアで情報発信し誘客を促進する。

また、「わかやま歴史物語」の中から、特に江戸以降に活躍した人物にゆかりがある28の旅モデルを巡るモバイルスタンプラリーを実施し、周遊促進による滞在時間の延長、消費拡大に繋げる。



日本遺産を活用した誘客促進

本県に関連する7件の日本遺産「鯨とともに生きる」、「絶景の宝庫 和歌の浦」、「『最初の一滴』醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅」、「『百世の安堵』～津波と復興の記憶が生きる広川の防災遺産～」、「1300年つづく日本の終活の旅～西国三十三所観音巡礼～」、「『葛城修験』一里人とともに守り伝える修験道はじまりの地」、「女性とともに今に息づく女人高野～時を超え、時に合わせて見守り続ける癒しの聖地～」について、認知度向上を図り、誘客を促進する。



インバウンド受入環境整備

ゴールデンルートに集中している外国人観光客をターゲットに、多様な交通手段を活用した観光モデルルート情報を提供し、大阪や京都、東京都からのプラスワントリップを目指した広域周遊ルートの構築を進める。

また、近隣県と連携し、交通アクセスの改善や多言語案内表示の整備など、県域をまたぐ統一的な受入環境の整備を進めるとともに、デジタルを活用した観光周遊環境の整備や、多言語電話通訳・簡易翻訳サービスの実施、高野・熊野地域通訳案内士の育成等、受入環境の充実を図り、個人で訪れた外国人観光客がストレスなく県内を広域に周遊できるよう取り組む。

